



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712
ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>

曖昧模糊 (あいまいも) ・ 揺り籠から墓場まで

【曖昧模糊】◇物事がはっきりしないさま。

・「曖昧」は「あやふや」、「模糊」は「はっきりしない」様子。

【揺り籠から墓場まで】◇人の一生のたとえ。また、乳幼児から老人まで社会保障が徹底して実施されること。

・第二次世界大戦後、イギリス労働党の内閣が社会福祉実現のスローガンとして用いた。

非常に暑い夏が終わりました。9月議会が6日より始まります。この議会から初めてインターネットで議会中継をしたり、「議会だより」に質問者の氏名が載るなど改革の議会となります。実際は外観よりも中身の改革が一番求められています。是非、議会を傍聴したり中継を見てご意見をください。(今回は、6月議会の質問分です)

①飯山満町2丁目にある「ケア・リハビリセンター」は豪華マンションを思わせる施設です。ここは「ケアハウス」と「リハビリセンター」の2本立てになっています。



ケア・リハビリセンター

利用案内によると、「ケアハウス」は、自炊ができない程度の身体機能の低下などがあり、高齢などのため独立して生活することが不安で、家族から援助を受けることが困難な方が入所できます。

「リハビリセンター」は、病院を退院した方で、ここに入所や通所することで、より自立した生活がより一層可能となる60歳以上の方が利用できる。と、読んだだけでは内容が『曖昧模糊』でよく分かりません。

約40億円の巨額を投入して建設したこの施設ではありますが、利用者が非常に少なく、毎日「閑古鳥(かんどり)が鳴いている」状態です。



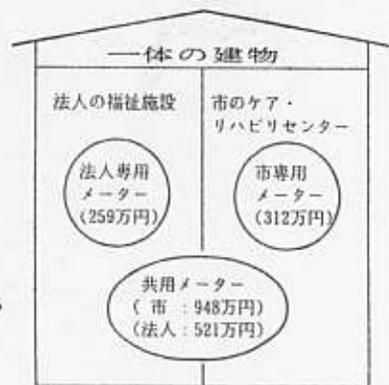
大きなプール

平成15年度の支出見込み額は1億9979万円で、「ケアハウス」と「リハビリセンター」の使用料収入は7721万円しかなく、差額の1億2258万円は市の負担となっています。毎年同じようです。

地下には「リハビリプール」といって、大きな

プールがあります。水の中を歩行訓練するものです。この利用者は年間で1名か2名しかいません。

また、光熱費が異常に高額です。年間で、電気料が2040万円、ガス料金が2022万円、水道料が1109万円となっています。この全額が市負担と思っていましたが、併設している法人と案分しているのです。メーターにそれぞれの専用メーターと、別に市と法人の共用メーターがあり、共用メーターの負担分は、市が64.51%、法人が35.49%です。



(例) 電気料2040万円の場合

この案分の根拠は、市のケア・リハビリセンターと法人の建物の床面積の比率で案分しているそうです。また、光熱費の全額を一旦市が立て替え払いをして、その後法人から集金しているのだそうです。そこで、次の質問をしました。

- (1) 光熱費を何故一旦立て替えしているのか。
- (2) 負担割合が床面積でいいのか。
- (3) 共用部分に各々のメーターを取り付ける必要があるのではないか。

市の回答は、

- (1) 区分所有者(法人)の共同の利益を増進し、社会福祉施設の良好な環境を確保する目的で、法人と管理契約を締結しており、それに則ったものである。期日までに法人が立て替え分を支払わない場合は、市はその額に年5%の利息を加算した額を請求することになっている。
- (2) 他に方法がない。
- (3) 市と法人の建物が一体となっていて、構造上から難しい。

と、全く理解できないものでした。いかに税金を無駄に使っているかよく分かりました。9月議会でこの質問のパート2をします。

②地区社会福祉協議会(地区社協)は市社会福祉協議会から多額の補助金を受けています。23地区社協の全部の決算書を調査したところ、予算総額の50%以上の繰り越し金がある地区が半数以上もあり、なんと繰り越し金が80%以上もある地区が3つもありました。20%にも満たない活動費で優しい気持ちが大切んな活動をしているのでしょうか。



そのような地区にも毎年相当の補助金が交付されているのです。繰り越し金が増えていくだけです。明確厳正な管理をすべきであると訴えました。

「福祉だから何でも許される」ものではありませんし、福祉は『揺り籠から墓場まで』と言われますが、墓場までお金は持っていきません。税金は大切にすべきです。